

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科 目	エンジン系構造	対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当	別紙参照						開講期 前期
実務経験教員授業	非該当	総時限	33時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 単元・期末試験 取組加減
〔授業概要・目的〕							
ガソリン・ディーゼル・エンジンの構造、機能、基礎整備について学習することで、三級ガソリン・ディーゼル自動車整備士国家試験（登録試験）のエンジン部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。							
〔授業の到達目標〕							
STEP1:エンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、3級実力判定問題より、計算を習得する							
STEP2:登録試験過去問題を活用し各章の理解度向上を図る							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ、電装品構造							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	導入					
	8	第4章 エンジン I エンジン本体					
	1	第4章 エンジン IX排出ガス浄化装置					
	1	第4章 エンジン V燃料装置「ガソリン・エンジン」					
	1	行程関連 I					
	1	計算問題 I					
	1	総合復習(エンジン関連)					
	1	磁気					
	1	バッテリー・充電装置					
	1	始動・点火装置					
	1	ED実力判定問題集					
2	1	第4章 エンジン II 潤滑装置					
	1	第4章 エンジン III冷却装置					
	2	第4章 エンジン VII電子制御装置「ガソリン・エンジン」					
	1	第8章 燃料及び潤滑剤					

	2	第6章 シャシ II 動力伝達装置
	1	第4章 エンジン IV 吸排気装置
	1	総合復習
	1	診断機とバッテリー
2	1	始動・点火装置の回路
	1	充電装置の回路
	1	ED実力判定問題集
	1	行程関連 II
	1	計算問題 II

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科 目	シャシ系構造	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	33時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 単元・期末試験
〔授業概要・目的〕							
シャシの構造、機能について学習することで、三級自動車整備士国家試験を合格できる							
レベルの知識習得を目的とする							
〔授業の到達目標〕							
三級自動車整備士（総合）の教科書を中心に、各章の車体の構造、機能の知識を習得する							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士(二輪)、計算問題を解くノウハウ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	導入					
	1	基礎自動車					
	1	動力伝達装置					
	1	ショックアブソーバ					
	1	ステアリング装置					
	1	ドラムブレーキ					
	1	ギヤ					
	1	スプリング・ベアリング					
	1	自動車の材料					
	1	サスペンション					
	1	自動車総論					
	1	マスターシリンダ・ブレーキ液					
	1	ディスクブレーキ					
	1	実力問題集 1 ・ 2					
	1	シャシ総合復習					
	1	電圧降下と半導体					
	1	灯火装置					
	1	サーキットテスト					

	1	実力判定問題集
	1	制動倍力装置
	1	ディファレンシャル
	1	ホイールアライメント（四輪）
	1	アンチロック装置・Pバルブ
	1	ホイール（四輪）
	1	タイヤ（四輪）
	1	自動遠心クラッチ（二輪）
	1	法令（二輪、四輪）
	1	実力問題（1&2）
	1	シャシ総合復習
	1	計器
	1	冷暖房装置
	1	ホーン・ワイパ・ウォッシャ
	1	CD実力判定問題集

授業計画(シラバス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科 目	自動車総論(後期)		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当		別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減
[授業概要・目的]								
自動車整備士資格取得のための、基礎的な原理・法則を理解する								
[授業の到達目標]								
基礎的な原理・法則を理解する(てこの原理、パスカルの原理、速度)								
基礎計算について理解する(排気量、速度、ギヤ比、圧力)								
[学習評価の基準]								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
[使用教科書・教材等]								
練習問題プリント、総合練習問題プリント、計算問題を解くノウハウ								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	1	速さの計算問題						
	1	排気量の計算問題						
	1	トルクコンバータ性能曲線図の計算問題						
	1	ギヤ比の計算問題						
	2	復習問題						
	1	荷重の問題(1)						
	1	荷重の問題(2)						
	1	パスカルの原理						
	1	遊星ギヤ						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科 目	図面・材料	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	後期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	9時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
〔授業概要・目的〕							
整備士として自動車に使われる部品材料の知識を深める							
〔授業の到達目標〕							
自動車整備士資格を取得するための自動車材料の知識を習得する							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
自動車材料、プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	第1章 総論					
	1	第2章 金属材料の性質					
	1	第3章 鉄鋼材料:概要					
	1	第3章 鉄鋼材料:鋳鉄					
	1	第4章 非鉄金属材料					
	1	第5章 焼結合金					
	1	第6章 非金属材料					
	1	第7章 複合材料					
	1	総合復習(材料)					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科 目	図面・材料	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	前期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	2時限	授業方法	講 義	評価方法	取組加減
〔授業概要・目的〕							
一般的な知識として、図面の取扱や重要性を知る							
〔授業の到達目標〕							
図面を見て大まかな形状や、その情報が読取れるようになる							
〔学習評価の基準〕							
前期は学習評価なし							
〔使用教科書・教材等〕							
製図、自動車材料							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	第1章 概要、第2章 図面の大きさ及び様式、第3章 線、文字、尺度					
	1	第4章 図形の表し方					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車整備	小教科 目	エンジン系整備	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	後期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	20時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験 取組加減
〔授業概要・目的〕							
ガソリン・ディーゼル・エンジンの構造、機能、基礎整備について学習することで、三級自動車整備士（総合）							
国家試験（登録試験）のエンジン部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。							
〔授業の到達目標〕							
STEP1:エンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、3級実力判定問題より、計算を習得する							
STEP2:登録試験過去問題を活用し各章の理解度向上を図る							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	導入・ディーゼル総論					
	2	第4章 エンジン I エンジン本体 3整備					
	2	第4章 エンジン VIIIディーゼル燃料装置					
	1	第4章 エンジン 潤滑装置・冷却装置整備					
	1	第8章 燃料及び潤滑剤 燃料・潤滑復習					
	1	第4章 エンジン 燃料装置・潤滑装置整備					
	1	行程関連3					
	1	総合復習					
2	1	E総論問題					
	2	E本体問題					
	1	潤滑、冷却装置問題					
	1	電子制御装置問題					
	1	燃料装置問題					
	2	基礎自動車工学問題					
	1	模擬問題					
	1	総合復習					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車整備	小教科 目	シャシ系整備	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	20時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 単元・期末試験
〔授業概要・目的〕							
前期で学んだシャシ構造・作動の知識を基に、点検方法・調整方法等の整備法を理解する							
〔授業の到達目標〕							
三級自動車整備士(総合)の教科書を中心に、各章の機能、整備の知識を習得する							
三級自動車整備士(総合)の教科書及び、登録試験の過去問題を活用し各章の理解度向上を図る							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士（総合）、電装品構造、計算問題を解くノウハウ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	後期 導入					
	1	ステアリング装置 1					
	1	ドラムブレーキ					
	1	潤滑剤					
	1	アライメント調整・整備					
	1	タイヤの不具合症状					
	1	シャシ機器の取り扱い					
	2	実力問題（Ⅰ＆Ⅱ）					
	1	総合復習					
2	1	ディファレンシャル復習					
	1	制動倍力装置復習					
	1	ディスクブレーキ					
	1	点検整備					
	1	動力伝達装置 2					
	1	3 級実力問題 シャシ(1)					
	1	3 級実力問題 シャシ(2)					
	2	シャシ系 計算問題					
	1	総合復習					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車整備	小教科目	二輪車整備	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当	別紙参照						開講期 後期
実務経験教員授業	非該当	総時限	20時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
〔授業概要・目的〕							
二輪車の構造・機能に関する基礎知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
二輪車の概要と基礎知識を身に付ける							
二輪車サービス業務に関する周辺知識を身に付ける							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士(二輪)、計算問題を解くノウハウ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	第1章 二輪車の概要					
	1	第3章 基本的な原理・原則					
	1	第1章 総論 II 内燃機関					
	1	第4章 エンジン I エンジン本体					
	1	第6章 シヤシ I 動力伝達装置・ドライブチェーン					
	1	第4章 エンジン IV 燃料装置					
	1	第4章 エンジン V 吸排気装置					
	1	第3章 シヤシ V ホイール・アライメント VII フレーム					
	1	第3章 シヤシ V 動力伝達装置・クラッチ					
	1	動力伝達装置 自動遠心クラッチ C50					
	1	第4章エンジン II 潤滑装置 / 第8章 燃料及び潤滑剤					
	1	第7章シヤシ電気装置 I 灯火装置 ～ III ホーン					
	1	定期点検					
	2	計算 I・II					
	1	第4章エンジン VI 電子制御装置					
	1	第6章動力伝達装置 ベルト式自動無段変速機 / ホンダ Vマチック					
	1	ホンダの保証制度、リコール、改善対策、サービス、キャンペーン					
	2	総合復習 I・II					

授業計画(シラバス)

大教科目	学科 自動車整備	小教科目	電装系整備	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01		
						開講期	後期		
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	20時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減	
〔授業概要・目的〕									
四輪車の電装系部品の整備法に関する知識を習得する									
〔授業の到達目標〕									
四輪車の電装系部品の点検方法を知る									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
〔使用教科書・教材等〕									
三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ、電装品構造									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	1	バッテリー 整備法							
	1	始動装置 整備法							
	1	充電装置 整備法							
	1	点火装置 整備法							
	1	サービスエンジニア							
	1	エンジン電装実力判定問題集							
	1	オームの法則Ⅰ							
	1	灯火装置計器 整備法							
	1	冷暖房装置 整備法							
	1	保安装置 整備法							
	1	低圧の電気							
	1	シャシ電装実力判定問題集							
	2	1	論理回路・多重通信						
		1	回路図Ⅰ						
		1	回路図Ⅱ						
1		オームの法則Ⅱ							
2		電圧(電位)故障探求							
	1	エンジン電装実力判定問題集							
	1	シャシ電装実力判定問題集							

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車整備に関する法規	小教科目	法規	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学科 1年	作成月日	25/04/01
	開講期					後期	
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	4時限	授業方法	講義	評価方法	
〔授業概要・目的〕							
整備士として必要な法的義務や責任を正しく把握する。							
自動車に関する主要な法令（道路運送車両法、道路交通法など）の基本的な内容を理解する。							
〔授業の到達目標〕							
法令違反が安全や社会に与える影響を理解し、整備士や使用者として法令を守る意識を持てる。							
三級二輪自動車整備士国家試験（登録試験）に合格できる知識を身につける。							
〔学習評価の基準〕							
今期は学習評価なし							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士（二輪）、計算問題を解くノウハウ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容（項目）					
	1	法令遵守とコンプライアンス					
	1	道路運送車両法					
	1	保安基準の細目					
	1	総合復習（練習問題）					

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	基礎整備作業 (実習)		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減	
〔授業概要・目的〕								
自動車整備に必要なとされる工具や計測器の使用方法・取り扱いの基礎を学ぶ。								
〔授業の到達目標〕								
測定器を正しく使用し、測定値を読み取れるようになる。								
工具の名称と使用方法を理解し、工具を正しく扱えるようになる								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車整備士(総合、二輪)、電装品構造								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	2	マイクロメータの基礎						
	2	ノギスの基礎						
	1	実習車の扱い方						
	1	工具の扱い方						
	1	ガレージジャッキ						
	1	ダイヤの脱着						
	2	ねじ(ボルト&ナット)の概要と規格						
	2	ボルトの締め付けと修正作業						
	1	総合復習						

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系構造		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期		前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	86時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験	単元・期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕								
ガソリン・ディーゼル・エンジンの分解・組立整備を通じて、基本構造・作動の理解と、各部の点検測定や調整ができるようになること、又エンジン系電気装置の分解整備を通じ、理論を確認し、理解を深め点検測定が出来るようになる								
〔授業の到達目標〕								
原動機の作動原理及び基本構造、名称を理解し、正しい手順で分解・組付け、点検・整備作業が出来るようになる								
測定器の使用方法・名称を理解し、正しく測定が出来、良否判定が出来るようになる								
各種センサ、アクチュエータの名称、役割、取り付け場所が分るようになる								
電気装置の基礎理論を確認し、電装品への理解を深め、正しい電気の取扱を習得し、安全確保の重要性を認識する								
サーキットテストを使用し、電流・電圧・抵抗の測定が出来、実験キットを使い、基礎回路を組み立て、原理を理解する								
正しい手順での組立と、正しいトルク管理ができるようになる								
安全作業について理解する								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車整備士(総合、二輪)、電装品構造								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	4	導入、G200 分解・組立(サイドバルブ)						
	4	GX160 分解・組立(OHV)						
	6	L15Aエンジン① 分解・組立(OHC)腰下						
	6	L15Aエンジン② 分解・組立(OHC)腰上						
	4	P07Aエンジン 分解・組立(OHC)腰上復習						
	4	GD411エンジン 分解・組立(OHV)						
	2	燃料装置						
	2	L15Aエンジン 分解・組立(OHC)						
	2	始動装置・単品						
	2	充電装置・単品						
	2	点火装置						

	2	電磁誘導
	2	バッテリー
	2	総合復習(エンジン編)
2	4	R20エンジン 分解・組立(OHC)
	4	L15Aエンジン 分解・組立(OHC)
	4	電子制御装置
	6	動力伝達装置
	2	潤滑装置 復習
	2	冷却装置 復習
	2	始動装置 単品
	2	充電装置 単品
	2	配線修正
	2	点火装置 単品
	2	OBD点検
	2	ED総合復習
	2	総合測定
	2	実働エンジン構造
	2	吸排気装置
	2	総合復習

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	シャシ系構造	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	前期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	86時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元・期末試験
〔授業概要・目的〕							
各装置の学科で得た知識を基に、基本的な装置・構造について分解組み立てを行い、理解を深める 実習とする。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化すること 装置の構成、名称、作動の仕組み、原理を理解すること 電気装置に使われている理論を確認し、電装品への理解を深める基礎とすること							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。 5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
四輪自動車、単品部品、一般工具、専用工具、三級自動車整備士(総合)、電装品構造							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	2	リフト・工具の使いかた					
	4	自動車の構成部品					
	2	マスタシリンダ					
	2	ボールナット型ステアリング装置					
	2	ラックピニオン型ステアリング装置					
	4	ドラムブレーキ(四輪)					
	2	ディスクブレーキ					
	2	ドライブシャフト					
	4	フロントサスペンション脱着(CIVIC)					
	4	フロントサスペンション脱着(FIT)					
	2	ブレーキ・エア抜き					
	2	ドラムブレーキ(二輪)					
	2	テスタ取扱					
	2	回路オームの法則					
	2	回路リレー					
	2	灯火装置					

	2	半導体Ⅰ
	2	CD総合復習
2	4	制動倍力装置 分離・一体型
	2	デディファレンシャルの分解組立
	2	ドライブシャフト脱着(CIVIC)
	2	ドライブシャフト脱着(FIT)
	4	リアサスペンション脱着(CIVIC)
	4	リアサスペンション脱着(FIT)
	2	リアキャリパ
	4	自動遠心クラッチ(二輪)
	2	作業確認
	4	シャシ総合復習
	2	電圧降下・電位測定
	2	電源とアース
	2	冷暖房装置
	2	ワイパ
	2	半導体Ⅱ
	2	電装総合復習

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系整備	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
教科担当							
実務経験教員授業	非該当	総時限	44時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元・期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
ガソリン・ディーゼル・エンジンの分解・組立整備を通じて、基本構造・作動の理解と、各部の点検測定や調整ができるようになること							
〔授業の到達目標〕							
原動機の作動原理及び基本構造、名称を理解し、正しい手順で分解・組付け、点検・整備作業ができるようになる							
測定器の使用・名称を理解し、正しく測定が出来る、良否判定が出来るようになる							
各種センサ、アクチュエータの名称、役割、取り付け場所が分かるようになる							
正しい手順での組立と、正しいトルク管理ができるようになる							
安全作業について理解する							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車整備士(総合、二輪)							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	6	L15A分解・整備・組立					
	6	R20A分解・整備・組立					
	4	GD411エンジン 分解・組立					
	2	トルクコンバータ構造					
	2	直噴エンジン導入					
	2	エンジン基本整備					
	2	総合復習1					
2	6	L15AエンジンVTEC構造					
	6	K20A始動エンジン点検					
	4	パーツカタログ					
	2	トルクコンバータ性能曲線図					
	2	エンジン整備作業確認					

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科 目	シャシ系整備		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業		非該当	総時限	44時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元・期末試験
〔授業概要・目的〕								
前期シャシ系構造の実習で習得した分解・組立方法を基に作業を行い、各部の点検・測定を できるようになる								
〔授業の到達目標〕								
分解前、分解後の構成部品の点検、測定ができる								
点検、測定後の良否判定ができる								
正しい組付けと、良否判定に基づく調整・整備ができる								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車整備士(総合)、電装品構造、実車、単品部品								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	4	フロントサスペンション (F I T)						
	4	フロントサスペンション (ストリーム)						
	2	ステアリング ボールナット調整						
	2	ステアリング ラックピニオン調整						
	2	アライメント (F I T)						
	2	ドライブシャフト分解						
	4	ドラムブレーキ ストリーム						
	4	無償点検						
	4	総合復習						
	2	簡易点検 (制動倍力装置)						
	1	ドラムブレーキ 復習						
	4	リアサスペンション (F I T)						
	4	リアサスペンション (ストリーム)						
	2	ディスクブレーキ						
	1	キャリパー復習						
	2	ディファレンシャル調整						

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	二輪車整備		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	44時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減	
〔授業概要・目的〕								
二輪車の分解・組立整備を通じて、構造、作動の理解と、各部の点検・調整等の整備ができるようになること								
また、電気装置の点検・測定が出来るようになることを目的とする。また、四輪車との相違点を把握し双方の理解度を深める。								
〔授業の到達目標〕								
二輪車の特性・構造を理解し、正しい点検・整備作業を身に付ける。								
二輪車の点検整備、調整方法に必要な知識と技術を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車整備士(二輪)、二級自動車整備士(二輪)、HMSE三級テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	1	駆動装置Ⅰ						
	1	駆動装置Ⅱ						
	2	ディスク・ブレーキ						
	2	チューブレスタイヤ(チューブレスタイヤ)						
	2	フリーバルブ式 フロントフォーク:フォークの分解組立						
	2	チューブタイヤ(チューブタイヤ)						
	2	燃料装置						
	2	電気装置,バッテリー						
	2	フロントフォーク脱着、ステアリング装置						
	2	冷却装置						
	2	CDI点火装置						
	2	充電装置						
	2	灯火装置、配線図						
	2	Vマチック						
	2	動力伝達装置、クラッチ						

	2	トランジスタ点火装置
	2	スマートキーシステム
	2	電子制御装置
	4	トランスミッション
	2	始動装置
	2	エンジン調整
	2	総合整備

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	電装系整備(実習)		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01	
							開講期	後期	
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	44時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕									
四輪車の単品・実車を通じて電装系部品の点検整備ができるようになること									
〔授業の到達目標〕									
四輪車の電装系部品の構造、回路を理解し、正しい点検整備作業を身に付ける。									
四輪車の点検整備作業に必要な知識と技術を習得する。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
三級自動車整備士(総合、二輪)、電装品構造									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	2	充電装置 実車							
	2	充電装置 単品							
	2	始動装置 直結式							
	2	点火装置(実車)							
	2	HDS取扱							
	2	灯火装置脱着							
	2	ワイパー 実車							
	2	ホーン・ウォッシャ・ワイパー							
	2	スイッチ導通点検 I							
	2	実車 回路図 I							
	2	バッテリー比重測定							
2	2	始動装置・故障探求							
	2	充電装置・実車測定							
	2	DTC点検							
	2	HDS取扱確認							

	2	電位(電圧)測定
	2	スイッチ導通点検Ⅱ
	2	実車 回路図Ⅱ
	2	ドア構成部品
	2	電装作業復習
	2	シャシ電装総合復習

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

大教科目	一般	小教科目	接客実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	該当	総時限	10時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
・実務経験のある教員が、現場で必要な知識等について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。								
〔授業概要・目的〕								
新社会人、新人サービススタッフとしての心構えを習得する								
〔授業の到達目標〕								
新人サービススタッフの知識を理解する								
接客マナーの基本を理解する								
後期就職活動に向けた企業が求める人材の理解と、将来像を考える								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
新人サービススタッフの基礎と接客								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	1	挨拶の基礎						
	2	新人サービススタッフの知識						
	2	ホンダを知る						
	1	建学の原点						
	1	ホンダフィロソフィ						
	1	接客実務復習練習						
	1	学園50日						
	1	就職導入						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	新機構・次世代技術	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	後期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	4時限	授業方法	講義	評価方法	
〔授業概要・目的〕							
ホンダ製品の新しい技術を理解する							
社会の変化で生じている様々な新技術等を知ることによって技術者としての幅を広げる							
〔授業の到達目標〕							
自動車の進化と技術革新の流れを理解する							
自動運転および先進運転支援システムの技術を理解する							
〔学習評価の基準〕							
今期は学習評価なし							
〔使用教科書・教材等〕							
HONDA SE3級							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	サービスの基本					
	1	整備業務の基礎					
	1	安全技術Ⅰ					
	1	安全技術Ⅱ					

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	新機構・次世代技術	対象級	専門課程 一級自動車研究開発学 科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	後期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	8時限	授業方法	実習・実技	評価方法	
〔授業概要・目的〕							
ホンダ製品の新しい技術を理解する							
社会の変化で生じている様々な新技術等を知ることで技術者としての幅を広げる							
〔授業の到達目標〕							
自動車の進化と技術革新の流れを理解する							
自動運転および先進運転支援システムの技術を理解する							
〔学習評価の基準〕							
今期は学習評価なし							
〔使用教科書・教材等〕							
HONDA SE3級							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
	1	ハイブリッドシステムの基礎:ハイブリッドの基礎知識					
	1	ハイブリッドシステムの基礎:PHEV/EVの基礎知識					
	1	外部診断機(故障診断):外部故障診断機を使用しての診断					
	1	外部診断機(故障診断):実作業におけるサービスマニュアルの確認方法					
	1	SRSエアバッグシステムⅠ					
	1	SRSエアバッグシステムⅡ					
	1	SRSエアバッグシステムⅢ					
	1	SRSエアバッグシステムⅣ					